

「関西生コン」労働運動とは何か —資本・権力は何を恐れて弾圧するのか—

いま、「連帯ユニオン関西地区生コン支部」という労働組合とその事業関係者に対し、常軌を逸した組合つぶしが行われています。この弾圧は、大資本の意を受けた警察、司法、一部マスメディアが総動員された、共謀罪を先取りした国策弾圧です。労組のストライキなど正当な活動が「威力業務妨害」「恐喝」等とでっち上げられ、すでにこの1年で、60名以上が不当に逮捕され、委員長らは何重もの罪をきせられ勾留されています。SNS上では無数の匿名アカウントが繰り返し同じような誹謗中傷を垂れ流しています。

なぜ、コンクリートを運ぶミキサー車の運転手たちから始まった労働運動を、それも関西という限定された地域の運動を、ここまでつぶしにかかるのでしょうか。その背景には、関西生コンの労働者たちが築き上げた仕組みや、その闘いが広がることを恐れる大手ゼネコンや大企業の存在があります。資本、権力は関西生コン労働者の闘いの何に怯え、恐怖し、労組を丸ごと潰してしまおうとするのでしょうか。そこを問うことで、この労働運動のもつ階級的な性格と本質、日本の労働運動の階級的再生の課題が明らかになります。

この講座では、『関西生コン50年史』をもとに、この闘いがいかなるものかを学びます。さらに、この闘いを教訓に、私たちの職場、生活、業界において根本からシステムを変える展望を見出したいと思います。労組関係者はもちろんのこと、働いているけど労組に加入していない方、学生やこれから働く予定の方々の参加も歓迎です。

時間 19:00～20:30

毎月(6～11月)第1・3水曜開催

(初回のみ第4水曜)

初回 6/26(水)(変則)

第2回 7/3(水)

第3回 7/17(水)

第4回 9/4(水)

第5回 9/18(水)

第6回 10/2(水)

第7回 10/16(水)

第8回 11/6(水)

第9回 11/20(水)



講師

生田あい (『関西生コン50年史』編纂委員) 他
本講座では、労働組合の実践現場の方々も講師としてお招きし、自分たちの持ち場で何ができるかをともに考えたいと思います。各回の講師と内容は、確定し次第、HP、twitterなどに掲載していきます。メールでのお問い合わせや案内にも対応します。